国際ロータリー第 2550 地区

黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

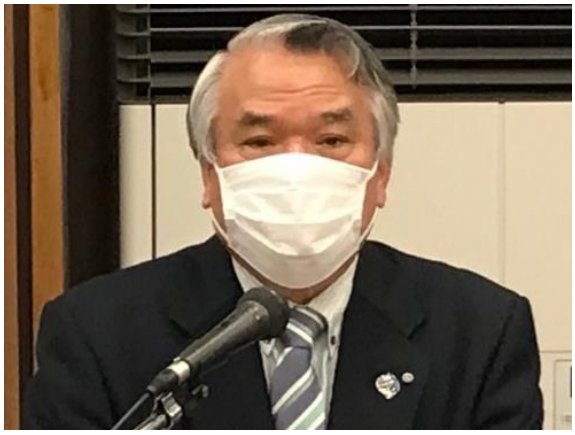
国際ロータリー会長:シェカール・メータ
第 2550 地区ガバナー: 石田順一
事務所:〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
ベルヴィ宇都宮内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会 長:荒牧明二 幹 事:安藤譲治
事務局:食健サロンるる塩梅
代表 安藤譲治
〒325-0055 那須塩原市宮町2-8
TEL:0287-73-5101・FAX:0287-73-5102
E-mail:hideki_akiba@akibacorp.com
例 会:国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2940回 荒牧年度 第11回例会会報 2021-10-27 司会村山茂君

会長挨拶 荒牧明二会長



皆さんこんにちは、10月24日日曜日2021-22年度国際ロータリークラブ第2550地区、地区大会が木綿とイチゴの町真岡(市民いちごホール)にて行なわれました。

石田順一ガバナーは、コロナ禍で縮小された大会になったことを痛恨の極みと語っておりました。しかし地区の行動目標である「参加者の基盤を広げましょう」に基づいた活動の成果を発表するとともに、地域社会と調和したロータリーの活動がいかに共感を呼び、感動をともにできるか、皆様のご協力のもとに可能な限り展開してゆきたいと思っていますと語っていました。

各種の表彰ありました。そのなかで黒磯ロータリークラブは(国際医療福祉大学生への生活支援として2トントラック1台分の生活物資寄贈により)ガバナー賞を頂きました、おめでとうございます。皆様ご協力有難うございました。

また、会員増強優秀賞を頂いた宇都宮陽北ロータリークラブは純増6名、栃木西ロータリークラブは純増4名すばらしいな、うらやましいなと思いました。

わが黒磯クラブも皆様と一緒に最低純増2名を60周年記念式典までに、必ずやりきりたいと思いました。皆様宜しくお願いします。

また、各種表彰を受けました皆様おめでとうございます。

以前食品ロスの話をしましたが、今日は、一歩前進したアイデアを発表したいと思います。

コンビニエンスでデザートに手を伸ばすと、黄緑色の表示「てまえどり」が目に飛び込んできます。すぐ食べるなら、棚の手前から販売期限の迫った商品を積極的に選ぼうという進めです。環境省、農水産省、消費者庁とコンビニ4社が連携して促進しています。選び方一つで、まだ食べられるのに捨てられる食品ロスの削減に貢献できる。私たちも手前から取る様にしていきましょう。

前にも話しましたが、約半分が家庭から出ると言われている食品ロス。私たちの生活の中でどんな工夫が出来るでしょうか。

例えば家庭菜園。読者から寄せられたアイデアは、生ごみは菜園の肥料にする、お米のとぎ汁で花を育てる、野菜のくずでだしをとる。などなど。ちなみに野菜の栄養は、捨てられがちな皮などにより多く含まれています。体にも地球にも良く、一石二鳥です。コロナ禍で手作りに対する考え方が変化している。おうち時間を活用するストレス解消法として、パンやお菓子を作る「ストレスベイキング」が広がっています。同時に食の社会問題に関心を持つ人も増加しています。

余った食材を美味しく変身させる「サルベージ(救う)クッキング」のシェフ キムラカズヒコさんは「食への興味やワクワク感こそが、フードロス削減の第一歩」と語っています。楽しくポジティブに食を考える価値観が生れつつあります。余り物こそが食卓を彩る宝になるかも知れません。

ノーベル平和賞を昨年受賞した、国連世界食料計画(WFP)日本事務所代表の焼家直絵さんは、先進国の肉食が増えると、餌となる穀物の消費も増え、その結果、貧困層から食料を奪うことになると指摘しています。「食料問題を対岸の

出席報告 出席委員会泉道夫 君 (出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 10月27日	37 (7)	32 (6)	5 (1)	88.9%		
前回 10月20日	37 (7)	33 (6)	4 (1)	94.3%	1	97.1%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

火事だと思わないで下さい。
　世界がボーダレスになっている今、私達の行動が直接、世界に影響することがある」と語っています。毎日の一工夫、重なれば大きな力になります。
　「余り物を使って思わず食べちゃうおつまみを作りたい」。興味でも節約でもいい。その一歩が、実は世界につながる一歩になるはずです。
　10月16日は、世界の食料問題を考える「世界食料デー」でした。目に留まった何かを一つから始めてみたいと思います。
　以上で会長挨拶を終わります。有難うございました。

地区からの表彰

長寿会員　檜山達郎会員

地区功労賞　秋間忍会員（前ガバナー補佐）

長寿会員　相馬征志会員

ガバナー賞　大島三千三会員（前クラブ会長）

35年100%皆勤出席賞長寿会員
月江寛智会員

30年100%皆勤出席賞　鳥居輝一会員

〇会報委員会より〇
　受賞された皆様、まことにおめでとうございます。
　秋間会員、大島会員におかれましては、同じ第一グループからガバナー輩出ということでご苦労もおありになったかと拝察致します。また、コロナ禍のなか、例会をオンラインで開催するなど普段の年度にはないご苦労もおありになったと拝察致します。お疲れ様でした。
　長寿会員、100%皆勤を受賞された皆様、お元気にこれからもクラブ会員の模範として、ご活躍を祈念致します。

委員会報告　稲垣政一副会長

委員会報告をお持ちの方、挙手願います。

○田中徹60周年実行委員長

本日、60周年記念実行委員会の組織を皆様のBOXに入れておきましたので確認願います。

当初申し上げました通りクレームは受け付けませんので宜しくお願い致します。

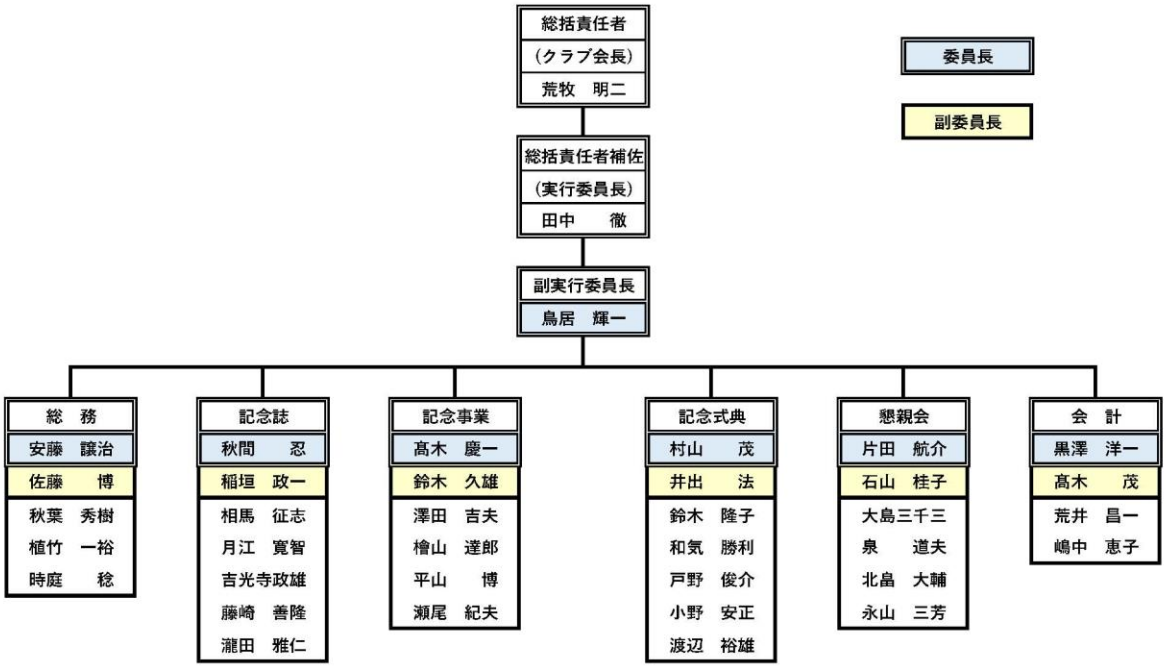
次のスケジュールとしましては11月第一週に荒牧会長を交えての委員長会議を開き、記念事業実施に向けて委員会毎に詳細を煮詰めて頂き予算の割り振りを致します。

11月末には実施要項全てを完了させるべく宜しくお願い致します。

黒磯ロータリークラブ創立６０周年記念事業

2021/10/27

実行委員会　組織図



幹事報告　安藤譲治幹事

- １０月２４日国際ロータリー２５５０地区地区大会が真岡市民いちごホールで開催され会長と参加してまいりました。
  内容はYouTubeにて配信されましたが、一ヶ月程度は視聴できますので、見て頂くようお願いします。
- 那須塩原市スポーツ振興課より、那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会の後援依頼が届いています。井出法(おさむ)社会奉仕委員長にお渡しいたしました。

ニコニコボックス
瀧田雅仁スマイルボックス委員長

相馬征志会員　　誕生日祝い、結婚記念日祝い有難うございました。

檜山達郎会員　　長寿祝い有難う御座います。

卓話　藤﨑善隆ロータリー財団委員長

皆さんこんにちは。本年度ロータリー財団委員長を仰せつかりました藤﨑です。戸野俊介副委員長、秋間忍委員の三名で活動しております。

来月は年度計画の通り皆さまには150ドルとポリオプラス30ドルの財団寄付のご協力を頂きます。加えまして、ベネファクターとして村山茂さまにご協力を頂いております。ご報告も併せこの場をお借り致しまして御礼申し上げます。

また、前年度戸野委員長に申請頂きました、小学校へのテント寄贈事業が承認となりまして補助金をお預かり致しました。クラブ負担分を合わせて次回例会時に渡辺市長に目録をお渡しできるよう準備しております。

次年度（植竹年度）の実施事業につきましては来年3月1日から4月25日の間に申請することとされており、新型コロナウイルスの影響で例会が休会になっていたこともあり、内容の検討は進んでおりませんが、今後鋭意進めて参る予定です。

皆さまご承知の通り、ロータリー財団は「全世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをする為の基金をつくろう」という、1917年当時のRI会長アーチ・C・クランフ氏の呼びかけで作られました。2013年7月より新しい補助金モデルである「未来の夢計画」が導入され、

1. 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化し
2. ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞り
3. 世界的目標と地元の目標の両方を果たす為の資金を提供することとし
4. 意思決定権をさらに地区とクラブに移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高め
5. ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めることを目指して運営されております。

この流れの中で、財団補助金の制度が地区補助金とグローバル補助金の2つの柱に整理されました。

黒磯クラブにおきましては地区補助金を活用して今年度のテント寄贈事業が実施可能となっているわけですが、それ以外の各奉仕事業に活用されていることをご理解頂ければと存じます。

財団補助金は3年前の寄付金額に応じて配分されておりますので、寄付額が多いほど補助金額が上乗せされることがご理解頂けると思います。クラブの計画は例年達成されておりますが、その他の寄付も可能です。

例えばロータリーカードというものがございます。私も作りまして、本日持って参りました。

普段の買い物にカードを利用することで、0.3％が財団への寄付に還元されます。ガバナー月信にも掲載されておりましたが、種類がいくつかございますのでホームページなどでご確認頂ければと思います。

時間が余りましたので、ガラッと話を変えて私のお話をさせて頂きたいと思います。皆さまは「大僧正」という言葉をお聞きになったことがあるかと思います。

「僧正」であるとか「僧都」という言葉も同様の言葉でありまして、かつて我が国で僧侶を管理する為に置かれた僧官の職名であります。

日本に仏教が伝来した当初、僧侶はいわば国家公務員でありました。「鎮護国家」と言いまして、国の安寧を祈ることが仕事であり、律令国家の治部省、その下の玄蕃寮の監督下に置かれておりました。

その役所の官職名が「僧正」や「僧都」というものであります。頂点に「大僧正」「僧正」「権僧正」と続き、「大僧都」「権大僧都」「少僧都」「権少僧都」、「大律師」「律師」「権律師」という序列があったようです。律令国家の制度が崩壊した後もその名前が残り、例えば日光にゆかりの深い天海も「大僧正」に叙せられています。

これが現代でも「僧階」という形で続いて用いられておりますが、もちろん現代におきましては国から任命されることはありませんしそのような制度はありません。あくまでも各宗派を統理する管長によって認証されているのが殆どであります。（私の場合権僧正を頂いています。）

さて、最初にこの「僧階」の起源について律令国家の官職に遡る旨お話ししました。

当時、もちろん僧侶以外の官職も当然序列を持って管理されていました。この序列の元になったのが有名な「冠位十二階」です。この制度が発展して律令国家の「位階制度」となり、現代におきましてもその名残を止めています。「冠位十二階」や「位階制度」についてお話しするほど詳しくはありませんので省きますが、この序列の違いを表した「色」についてご紹介したいと思います。

「冠位十二階」においてはその位を12階級に分けたわけですが、「冠位」とあるように冠につける色でその階級を表すことで位の上下が一目瞭然にわかるようにしました。その後この色の区別が「冠」ではなく着ているものの色で区別するようになり、その制度は明治維新まで続きました。

そしてこの色の違いで序列を表すということが現代でも行われているのが私たち僧侶の世界です。江戸時代初期に「紫衣事件」という事件あったように、よく「紫の衣」などと言ったりしますが、これを許される方は高位の僧侶ということになり、現代でも変わりません。

各宗派によって違いがございますので、私ども日蓮宗における僧階とお衣の色についてご紹介します。僧階の名称・衣の色については各宗派にて異なりますのでその旨ご承知おきの上お聞き下さい。

日蓮宗における僧階の最上位は「大僧正」であり、その下に「権大僧正」「僧正」「権僧正」と続きます。「大僧正」は別格で緋色の衣をお着けになります。

また、「権大僧正」と共に深紫色も認められています。「僧正」は浅紫、「権僧正」は藤紫といった具合です。「大僧都」「権大僧都」「僧都」「権僧都」の衣は白色、更に「大講師」「権大講師」「講師」「准講師」は水色の衣と定められています。これにお袈裟の色も定めがあり、「准講師」は紫色、「講師」以上は紫地に金紋乃至白紋、「権僧都」以上は茶色地に金紋乃至白紋、「大僧都」以上は緋色地に金紋、「大僧正」「権大僧正」は緋色地に白紋のお袈裟が組み合わさります。行事の趣旨によって制度外の色のお衣を着けることもありますので、一概にお衣の色で僧階を見分けることができるわけではありませんが、制度としてはこうした形が残っております。

何となくはご存じだったかとは思いますが、古来の伝統が形を変えながらも残っていることを感じて頂ければと思いご紹介させて頂きました。

10月27日　欠席者（敬称略）荒井昌一　秋葉秀樹　井出法　小野安正　北畠大輔

前回10月20日分メークアップ（敬称略）
秋葉秀樹

次回例会　　令和3年11月10日　　担当　会長クラブ協議会

近隣クラブ例会日
〇火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
〇木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
〇木曜日　大田原/ホテル花月　0287-54-1105
〇金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：吉光寺政雄・鳥居輝一・高木慶一・瀧田雅仁・藤崎善隆